

ながはま見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

8月14日(金)～16日(日)

長浜に帰らず繋がる オンライン帰省

新型コロナウイルスの影響で帰省ができない中、“どこでも帰省”が体験できる「長浜オンライン帰省」が開催されました。長浜の魅力を知り尽くした3人のゲストが、市内のベストスポット、オンライン写真展、Uターンのリアルな仕事と暮らしについて語り、長浜の雰囲気や魅力をオンラインで伝えました。

参加者らは、全国各地でいながらにして長浜の雰囲気や魅力を感じました。



8月23日(日)

切り絵の世界に挑戦

慶雲館の企画展「早川鉄兵 切り絵の世界×慶雲館」の会期中、早川氏自身が講師を務める子ども向け切り絵ワークショップが開催されました。

子どもたちは5種類の動物の切り絵にチャレンジ。細かく切る作業が増えていくにつれ、ハサミを顔に近づけ、集中して作業していた子どもたちも、出来上がった切り絵の動物を見ると「かわいい」と笑顔で喜びました。

8月23日(日)

子ども店主が元気に「いらっしゃいませ！」

えきまちテラス長浜で「えきまちキッズマルシェ」が開催されました。中でも見どころは、小学生7人による“子ども店主”。自作のブローチやコースターなどの雑貨を展示販売。雑貨を見るお客さんに、元気よく声をかけ、商品が売れると「ありがとうございました」と嬉しそうに笑顔で見送りました。

子ども店主たちは、物づくりの苦勞と自作の商品が売れる楽しさを実感し、充実した一日を過ごしました。



8月29日(土)

食から考える琵琶湖の恵みと生活

湖北の美しい風景や暮らし、食卓を彩る食材について考える「食卓から守る湖北の風景」と題したトークイベントがえきまちテラス長浜で開催されました。

琵琶湖博物館学芸員の金尾滋史さんが講師としてオンラインで参加し、湖北の料理をテーマにアユやビワマスなどの生態や特徴について解説。参加者らは、食と暮らしを通じて地域の恵みの豊かさを知り、湖北の風景を守ることを考える機会になりました。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「#みんなのちょびっく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

8月29日(土)

図書館がもっと楽しくなる講座

ながはま文化福祉プラザで、シリーズ講座「大人のための図書館達人講座」が開催されました。

第1回となる今回は「図書館の本のらび方を知ろう」がテーマ。本の並び方や、背表紙の数字ラベルの意味など、図書館で目的の本にスムーズにたどり着くのに役立つ知識がレクチャーされました。普段は非公開の書庫の見学もあり、参加者は司書の説明に傾きながら熱心にメモを取っていました。



8月29日(土)

史料で読み解く浅井長政の最期

浅井久政が自刃したとされるこの日に合わせて、国友町会館で講演会「小谷落城・浅井長政の最期」が開催され、地元の人や歴史ファンなどおよそ50人が集まりました。

講師の太田浩司学芸専門監が、浅井家の歴史や長政の人柄を、ユーモアや独自の推察を交えて説明すると、笑いや質問が飛びました。北近江に生きた武将の生涯を知ること、地域の歴史を身近に感じることができました。

9月1日(火)

長寿を祝い敬老訪問

加田町の介護老人保健施設長浜メディケアセンターで市内最高齢の井上住栄さん(107歳)を市長が敬老訪問しました。

園芸や旅行が好きな井上さん。市長の敬老訪問には、長男の孝一さんも同席し一緒に祝いました。

孝一さんは、「母親が107歳という年齢まで長生きできたのは、施設の方が良くしてくれているおかげだと思います」と感謝の言葉を述べました。



9月5日(土)

すべてが手作り！若手アーティストが音楽劇

来年1月に行われる「はまかるエンゲキ」の音楽劇「とりあえずあんみつ！」の発表会見が慶雲館で行われました。

「はまかるエンゲキ」は、市内を中心に活動する若手アーティストらでつくる演劇部。この日の会見には、舞台衣装を身にまとった出演者と演出家ら9人が参加し、「『今の私って悪くないな』って思ってもらえる物語。歌やダンス、衣装、脚本、セットなどすべてが手作りです」とこの劇をPRしました。